



社会福祉法人 済生会支部

大分県 済生会 日田病院 広報誌「なでしこ」(巡回通信誌)

なでしこ

NADESHIKO

Oita Prefecture Saiseikai Hitata Hospital

2024
春号
vol.07

4~6月



最先端の技術で
消化管癌の早期発見と早期治療

特集：消化器内科

部長 膳所 圭三
医員 福田 匠



<https://saiseikai.hitata.oita.jp>

INDEX

2 | コラム:「高齢者が救う超高齢社会」:院長 林田良三
3-5 | 特集:消化器内科 部長 膳所 圭三 / 医員 福田 匠
6 | 「子どもの声を聞けるおとなに!」
「まほろば通信」完成

7 | 連携医療機関紹介記事「下飛田小児科」・ID-Link
8 | インフォメーション: 無料又は低額診療のご案内
令和6年度 巡回診療事業計画のお知らせ

高齢者が救う超高齢社会

院長 林田 良三



2024年度となり、団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年まで1年をきりました。

国立社会保障・人口問題研究所の推計(令和5年版高齢社会白書-内閣府)では2025年高齢化率(65歳以上の人口の全人口に占める比率)は29.6%で、3.3人に1人は高齢者となります。

さらに団塊の世代がすべて後期高齢者となることで、その数は2155万人となり、この20年間で約2倍に増えたこととなります。後期高齢者一人あたりの平均年間医療費は65歳未満の約5倍の92万円で平均年間介護費は前期高齢者(65歳~74歳)の約10倍の53万円です。後期高齢者の急増により年間医療費、介護費総額は右肩あがりに増え続けており、2025年には医療費は約54兆円介護費は約20兆円に達し、国家財政を脅かすと言われています。一方、15歳から64歳までの生産年齢人口は少子化の影響で1995年以来減少の一途をたどっており、今後、医療介護の担い手不足は医療介護施設の存続を脅かす深刻な問題です。さらに現役世代が支払う保険料や税金、年金の減少は医療介護費の財源不足を招き、医療介護報酬には厳しい抑制政策がとられています。これらがいわゆる医療における2025年問題です。

この問題に私達はどうか対処すればいいのでしょうか。医療制度や医療提供体制の改革など医療提供側の対応はもちろん必要ですが、医療を受ける側にも対応が求められています。この一つに逆転の発想ともいえる対処法があります。それは増え続ける高齢者が支えられる側から支える側になり、同世代または上の世代の社会的弱者を助け、さらに若い世代の負担を軽減する高齢者活躍時代の到来を目指すことです。

現在、高齢者の定義は65歳以上とされています。これは1965年にWHO(世界保健機構)が65歳以上の人口が全人口の7%以上を越えた社会を高齢化社会としたことによります。1965年当時、日本人の平均寿命は男性67.7歳、女性72.9歳でこの定義は抵抗なく受け入れられました。しかし、半世紀以上経過した2023年に同じくWHOが発表した世界保健統計(World Health Statistics 2023-WHO Data)によると日本人(男女)の平均寿命は84.3歳で日本は世界一の長寿国になっています。現在では多くの65歳はまだまだ若く、心身ともに健康で高齢者とするには実情にそぐわなくなっています。この現状を踏まえ、日本老年学会、日本老年医学会は「高齢者に関する定義検討ワーキンググループ報告書」(平成29年3月)をまとめ、65歳以上の高齢者の心身の老化現象の出現が10~20年前と比べて5~10年遅延しており、「若返り」現象がみられることを報告しています。そのうえで高齢者の新たな定義を75歳以上とし、65歳から74歳までの前期高齢者は准高齢者とすることを提案しました。

元気な准高齢者が豊富な経験や知識、技術を持って、現役世代とともに社会を支えること。そして、75歳以上の高齢者は一日でも長く、健康でいられるよう地域社会が支援していくことが世界に誇れる日本の医療を持続させるために今まさに求められています。

消化器内科

gastroenterology

部長 膳所 圭三 / 医員 福田 匠

消化管腫瘍について

当科では消化管癌の早期発見を目的として上下部消化管内視鏡検査を積極的に行っています。日本人が一生のうち癌と診断される確率は男性が65.5%、女性が51.2%と報告されています。消化管癌による死亡数は年々増加しており、大腸がん死亡数は男性2位、女性1位で胃がん死亡数は男性2位、女性5位となっています(図1)。

しかし、胃・大腸癌は早期の段階で治療介入すれば高い確率で治療が期待できる疾患でもありますので、検査を受けにきていただきたいと思います。消化管腫瘍に対する治療として主に内視鏡的粘膜切除術(EMR)、内視鏡的粘膜下層剥離(ESD)があり、治療はガイドラインや内視鏡所見に基づいて治療適応と適応外の判断を行います(図2-4)。最近では内視鏡治療後などで通常のEMR、ESDが困難な症例に対してUnder water EMR(UEMR)という内視鏡治療を取り入れておりますのでご相談いただければ幸いです(図5、6)。いずれもおなかを切らない治療ですので入院は3~7日間になります。

(図1) がん死亡数の順位(2022年)

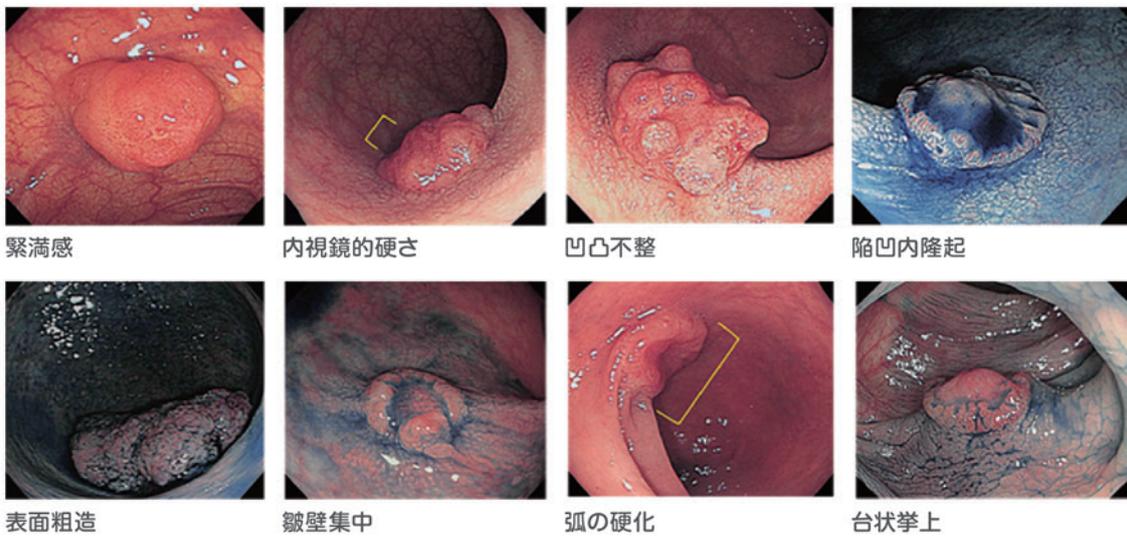
	1位	2位	3位	4位	5位	
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸8位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸10位

(図2) 胃癌に対するESD/EMRガイドライン(第2版)に基づいた内視鏡的切除の根治性評価基準

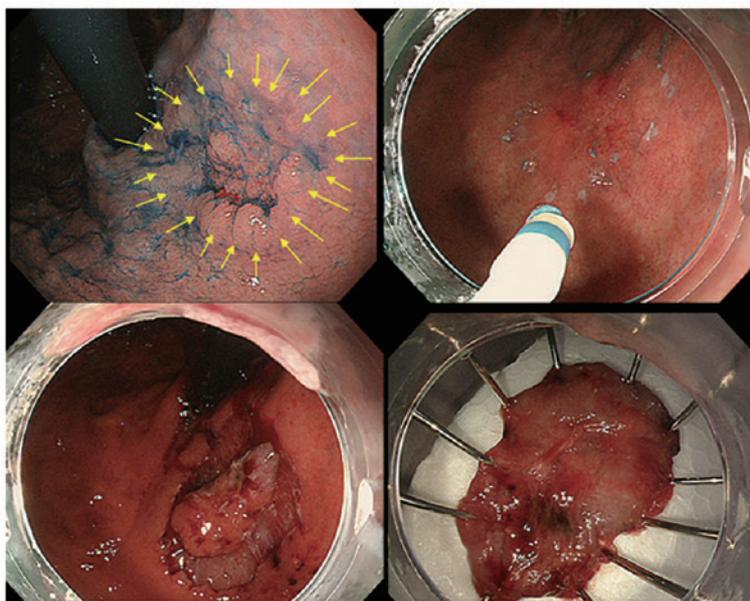
深達度	潰瘍	分化型優位		未分化型優位	
		≦2cm	>2cm	≦2cm	>2cm
pT1a(M)	UL0	■	■	■	■
	UL1	■	■	■	■
pT1b1(SM1)		■	■	■	■
pT1b2(SM2)		■	■	■	■

■ 内視鏡的根治度A, 治癒切除 注:脈管侵襲陰性かつ水平, 深部断端陰性
 ■ 内視鏡的根治度B, 適応拡大治癒切除 注:脈管侵襲陰性かつ水平, 深部断端陰性
 ■ 内視鏡的根治度C-1, 非治癒切除

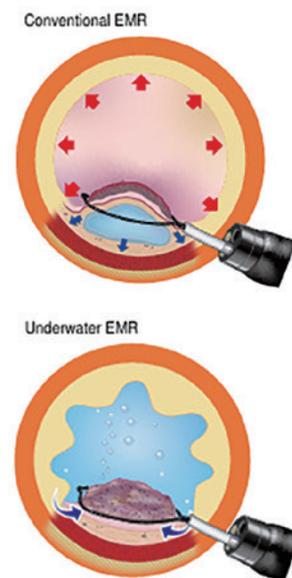
(図3) 内視鏡治療適応外となる所見



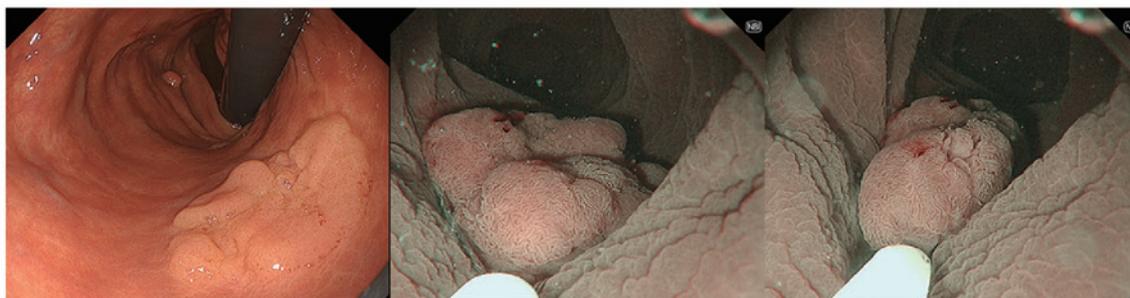
(図4) 早期胃癌治療例



(図5)



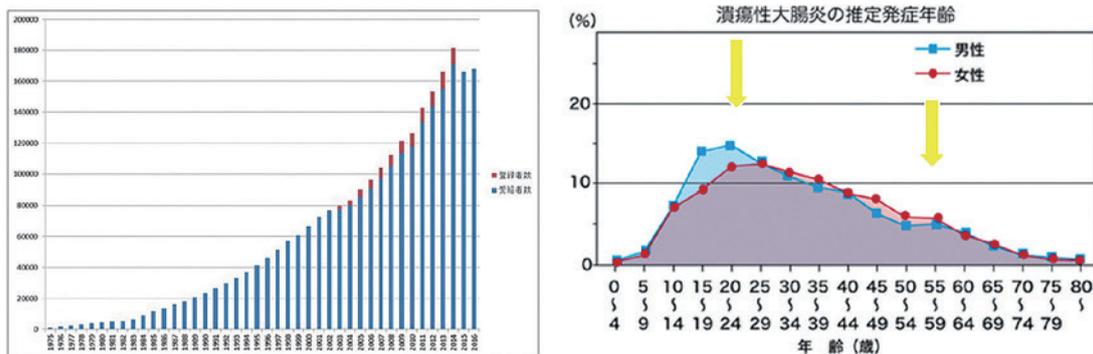
(図6)



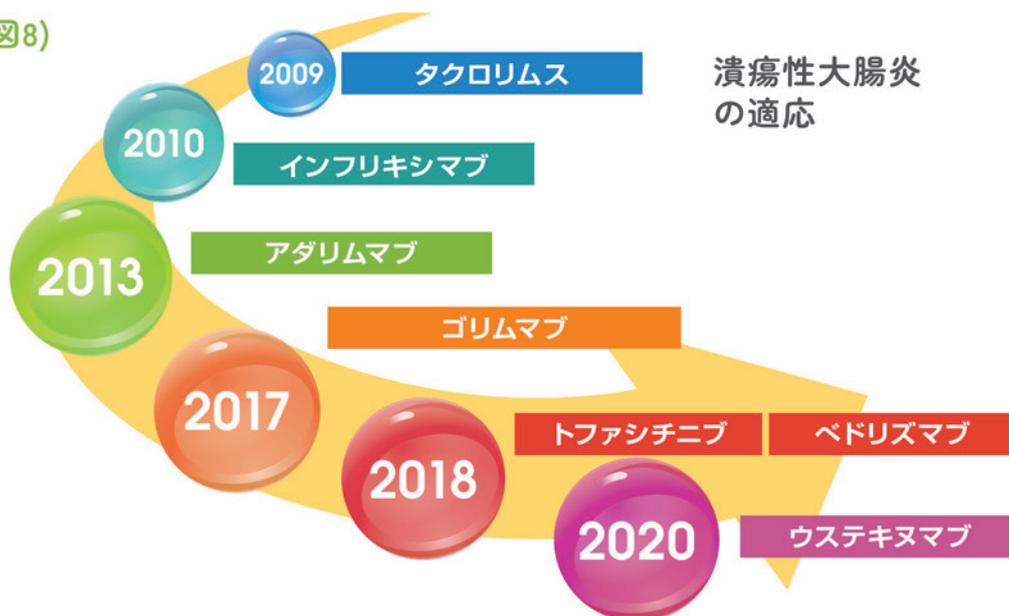
炎症性腸疾患について

当科では消化管腫瘍の治療だけではなく、炎症性腸疾患の診断と治療にも取り組んでいます。大腸及び小腸の粘膜に炎症や潰瘍ができる原因不明の疾患の総称を炎症性腸疾患(Inflammatory Bowel Disease: IBD)といい、狭義には潰瘍性大腸炎とクローン病に分類されます。その中でも本邦において潰瘍性大腸炎患者数の増加は著しく22万人を超えるとされています(図7)。かつて潰瘍性大腸炎治療は5-ASA製剤とステロイドの2種類しかありませんでしたが、近年新規薬剤の登場で治療が劇的に変化しています。2010年にレミケードという生物学的製剤が潰瘍性大腸炎に対して保険適応となり、これを契機に2013年アダリムマブ、2017年ゴリムマブ、2018年ベドリズマブ、JAK阻害剤のトファシチニブ、2020年ウステキヌマブ、2022年フィルゴチニブ、ウパダシチニブとたくさんの薬剤が保険適応となっていますので、それぞれの患者さんに適した治療選択を行っています。潰瘍性大腸炎を含めた炎症性腸疾患は10~20代で発症、長期にわたって再燃・寛解を繰り返す疾患です。治療も長期間にわたるため患者さんの日常生活、進学・結婚・出産などのライフイベントに大きな影響を及ぼすため早期に診断し治療を行う必要があります。我々の治療目標としては、病気があっても通常の生活を長期に送れることです。それを達成するために日々診療を行っています。

(図7)



(図8)



子どもの声を聞けるおとなに! ～あたたかいつながりから～



医療社会事業室室長 桑野 博文

毎年、大分県内の各市町村で研修会を開催し、今回は日田市で2月25日に開催し、会場とweb併せて100名が参加されました。子どもの権利条約12条や子ども基本法の理念である「子ども意見表明権」が制定され、市内で活動している6団体（済生会日田病院を含む）からの活動報告および、パネルディスカッションを行い、活動団体からの報告では、「子どもの声」を聞くための実践から子どもの声を聴く環境、話しやすい環境等、工夫された取り組みがありました。



またパネルディスカッションでは、会場から多くの質問があり、参加者からの高い関心がうかがわれました。アンケートでも「日田市内でこのような活動をしている団体があることを知らなかった」「相談できる場所を知ることができとてもよかった」「子どもの意見を聴くことの大切さを改めて学んだ」と参加者の学びも大きかったようです。今回、パネラーとして済生会日田病院の活動を報告し、参加者からも改めて「済生会は医療だけでなく福祉の活動もしているんですね」と声をかけられる場面もありました。今後も済生会日田病院の活動を広く地域の方に知っていただけるよう努めていきたいです。

「まほろば通信」完成

理学療法士 三木 征博



済生会まほろば訪問看護ステーションは、「安心」「笑顔」「共生」、住み慣れた場所であなたらしく生きることを支えます」を理念に開設されました。早いもので開設から1年が経ち、4月で2年目を迎えました。2025年問題や進行する少子高齢化といった社会的課題において、地域医療の充実がこれからはさらに重要になることから、私たちの活動は、ますます重要になると考えています。このような背景を受け、今般、地域社会への情報提供とコミュニケーションの強化を目的として、「まほろば通信」を発行しました。



当施設の最新の活動や有益な情報を地域の皆様へ定期的にお届けすることで、地域における認知度の向上を図り、在宅医療が必要な患者様やそのご家族の多様なニーズに応えていくことができるよう務めていく方針です。今後も、質の高いサービス提供と地域医療体制への貢献を目指し、私たちの活動が、地域で暮らす一人ひとりの「安心」と「笑顔」を支えられるよう、地域の皆様と共に歩んでいきたいと思っております。

連携クリニック紹介:007

下飛田小児科



先代が60年前に開業し、没後暫く閉院していましたが、30年前に再開しています。リフォームだけで建て替えせず古びた医院です。済生会日田病院には、設立された時から半年遅れて小児科の2人目の医師として勤務していました。懐かしい思い出です。開業し初めは24時間頑張っていましたし、最近までは21時半まで日曜祝日も診ていました。しかし、時間外・休日も働く人材の確保できずに、現在では時間外診療は、当番医制度の時間のみになっています。そういう意味では、地域医療の貢献度は低下していると思います。もう先代が没した年齢も越えましたし、やれる範囲でやっているとと思っています。

下飛田小児科

〒877-0015 大分県日田市中央1丁目7-1
 TEL.0973-24-1148 FAX.0973-24-1135



院長：下飛田 毅 先生

小児科専門医、日田市医師会理事、大分県小児科医会理事

■方針・理念

小児科診療を通じ、予防接種、乳児検診、夜間休日当番医、園医・学校医等し、地域医療に貢献する。

■診療時間

月～木曜日	8:50～12:20	14:00～18:10
金曜日	8:50～12:20	14:00～17:10
土曜日	8:50～12:20	

■予防接種

月曜土曜除く	10:30～12:00
月曜～金曜日	14:30～16:00
土曜日	14:00～14:50

■休診日 日曜祝日、お盆、年末年始



大分県済生会日田病院では、地域の医療機関との連携のため、**地域医療連携ネットワーク**を運用します。

地域医療室 E-mail renkei@saiseikai.hita.oita.jp

TEL.0973-22-8738 FAX.0973-22-8830

■ **地域医療室**は、地域の医療機関との緊密な連携を確保し、診療所と病院あるいは病院間での機能分担や機能連携を進め、住民の皆さんが身近な地域で適切な医療を受け入れられるよう、効率的な医療システムの構築に努めています。どうぞよろしくお願いいたします。

■医療情報連携ネットワーク「ID-Link」

(登録医療機関数 日田市19 玖珠郡4 中津市2) (令和3年度実績:191件)
 連携可能項目: 処方、注射、検体検査、画像オーダー、文書・レポート類、ノート、簡易サマリ

済生会日田病院での治療経過をより詳細かつ正確に紹介先の医療機関へ伝達できるよう、当院では医療情報連携ネットワーク「ID-Link」を用いた医療情報を円滑かつ緊密に行っています。なお、ご希望の医療機関の方はお申し付けください。



無料又は低額診療のご案内

医療費でお困りの方は、まず、ご相談ください。

済生会日田病院は、社会福祉法人の病院として、社会福祉法第2条第3項に基づき、**経済的な理由によって、必要な医療を受ける機会が制限されることのないように**、医療費の支払いに困っている方を対象に、診療費の自己負担額を減免（無料又は低額診療事業）しています。

●受診を控えたり、受診回数を減らすことのないように、まず、ご相談ください。

医療ソーシャルワーカーが相談に応じ、所定の手続き（面談・所得の確認等）を経て、本制度の適用について決定します。プライバシーは厳守します。

- 対象者例：①市町村県民税非課税世帯の方 ②市町村県民税均等割のみ課税世帯の方
③「限度額適用・標準負担額減額認定証」の適用を受けている方
④「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」の適用を受けている方
⑤「就学援助制度」の認定を受けている方
⑥低所得者等の生活困難者（世帯収入が生活保護基準の1.5倍までの者）



(例) 日田市在住、70歳、一人暮らしの場合：1ヶ月の生活保護基準の1.5倍は97,800円となります。年金収入等がそれを下回っている場合は当制度の該当となる可能性があります。（但し、生活保護基準は家族構成等により変動します）
※上記は一例です。状況によって対象となる場合がありますので、ご相談ください。

利用方法：①から⑤に該当する方は関係機関からの証明書、認定証、通知書等をご提示してください。
⑥の方については、面談にて詳細な状況を確認いたします。
本人または成年以上のご家族等から、診療費減免申請書を提出していただきます。
院内の所定の手続きを経て、減免の可否について決定し、本人または成年以上のご家族等へ通知いたします。

※失業等により一時的に低所得となった場合やDV（配偶者からの暴力）を受け医療費の支払いが出来ない方、保険証が無い方でも外来診療費・入院診療費ともに相談に応じることが可能ですので、どうぞご遠慮なく医療相談員まで声をお掛けください。

令和6年度

巡回診療事業計画のお知らせ

無医地区名	診療所・時間	令和6年		
		4月	5月	6月
東羽田高花	高花公民館 13:45~15:15	16(火)	14(火)	11(火)
		30(火)	28(火)	25(火)
古 後	古後生活改善センター 13:45~15:15	23(火)	21(火)	18(火)

- ※身体のお悩みの方は、お気軽にお申出ください。
- ※健康保険証、医療受給者証（または高齢受給者証）を持参してください。
- ※病院の窓口で現金をお支払いいただくのと同様に有料です。

